

川越町社協の取り組みが新聞に掲載されました！

2016年1月30日付 中日新聞北勢版
「ハピ★ママ講座」

**子育て中ママが
運動で気分転換**
川越で講座

川越町内の子育て中の母親らのサークル「ハピ★ママ」が二十九日、母親同士のつながりをつくることを目的にした講座を、町いきいきセンターで開いた。写真。

講座は昨年からの毎

回、テーマを変えて開催。町内外から参加を募っている。

六回目の今回はバレエやヨガの動きを取り入れて、柔軟運動や筋力トレーニングをする「バレトン」。四日市市と川越町でバレトン教室を開く鈴木洋子さんが講師を務めた。二十一人が参加。体を動かしたあと、五人のグループに分かれて感想を話し合った。(下泉亮一)



2016年2月10日付 中日新聞北勢版
「手話カフェくろがね」

**お茶楽しみ
手話を学ぶ**
川越・障害者施設
川越町高松の障害者

お茶を楽しみながら手話を学ぶ参加者ら＝川越町高松の「くろがね作業所」

らで
た。

作業所の利用者二人も、ボランティアスタッフとして参加者にコーヒーやお茶を提供しながら、一緒に学んだ。(下泉亮一)

就労支援施設「くろがね作業所」で、お茶を楽しみながら気軽に手話を学ぶ「手話カフェくろがね」が開かれた。

作業所を運営する町社会福祉協議会が昨年十二月に続いて開催。町内外の六人が参加し、手話の勉強会を開いている「リバーサークル」の会員二人から、自分の名前や生年月日、家族構成などの表現を教わった。

